

# 令和元年度 「生徒自身による『私たちのネット利用ルール』づくり」 活動推進実践報告書

## 1 学校の概要

- (1) 学校名 埼玉県立大宮工業高等学校
- (2) 学級数 21クラス（5月1日付け）
- (3) 生徒数 796人（同上）
- (4) 教職員数 87人（同上）

## 2 「私たちのネット利用ルール」づくりについて

### (1) 取組内容（決定までのプロセス）

- 7月 生徒会が中心となり校内でネットトラブルに関する意識調査を実施
- 11月 全生徒に対してネット利用のルールについて意見やルール案を募集
- 12月 ルールの草案を作成、草案を全クラスに掲示し校正を実施
- 12月 生徒総会にて校正後のルールを全校生徒に提示し、総会で承認
- 1月 生徒会誌に掲載するネット利用ルールに関する記事原稿の作成と印刷業者への送付

### (2) 全校への周知の方法

- ・生徒総会でのルール提示及び承認。
- ・3月に発行する生徒会誌でのルール掲載。

### (3) 私たちのネット利用ルール

#### 一：ネット依存防止規則

- ・必要なとき以外でのスマートフォンなどにおけるネットの使用に関して使用時間設定を設ける。
- ～ネットに使っていた時間の一部を、学習・運動・ネット以外の趣味などに使おう。～

#### 二：不適切動画及び写真の投稿防止規則

- ・動画内容及び写真に写っている内容をよく確認し、閲覧者の目線に立って道義的に許されないものはSNSなどに投稿しない。
- ～他者の写っている動画や写真を勝手に投稿しない。動画や写真の内容が社会的に見て適切かどうか考える。～

### 三：ネットいじめ防止規則

- ・相手への誹謗中傷や誤解を招く可能性がある言葉を発信しない。
- ～ネットの言葉では、相手の表情・感情は読み取れない。暴言に繋がる言葉やささいな言葉・普段使っている言葉が相手を傷つける可能性があることを考えて発信をしよう。～

## 3 活動推進校の広報活動について

### (1) 活動内容

- ・生徒会通信にて、ネット利用ルール作りにおけるアンバサダーの活動報告を実施。
- ・生徒会誌に掲載するための掲載記事の作成。

### (2) 実施期間（9月～3月）

## 4 活動の成果と課題

### (1) 成果

ルール作りを通じて、ネット活用における問題などを意識する姿勢が、生徒から多々見られるようになった。ルール作りの意見聴取の際、どのようにしたら問題がなくなるのか、生徒なりの考えをそれぞれ出し合い、自分の意見を出して問題を解決することの大切さを学ぶ機会になった。

### (2) 課題

ルール作成後、本来なら各クラスのホームルームの時間を活用して、ルールを運用するにあたってのグループ討論などが実施できればよかったが、学校のホームルームの年間予定の都合上できなかつたことが残念であった。